

都市経済論

担当者 小藤 弘樹

開講時期 前期 単 位 2

●講義の概要

経済学の視点から、都市の形成と発展の要因および都市の土地利用（空間的構造）の決定メカニズムについて概説する。

次いで、都市で生じている様々な問題を経済学的に分析し、それに対する政策の在り方について考える。

●講義の到達目標

都市問題を経済学的に分析し、それに対する政策の在り方について考える力を修得する。

●講義計画

第1回：はじめに：都市の概念

第2回：日本の地域構造

第3回：地域所得の概念

第4回：地域所得の決定

第5回：都市形成の要因

第6回：都市システム

第7回：都市の発展と衰退

第8回：都市の土地利用構造 (1) 企業の立地

第9回：都市の土地利用構造 (2) 住宅の立地

第10回：都市の土地問題 (1) 地代と地価の決定

第11回：都市の土地問題 (2) 土地と課税

第12回：都市の住宅問題

第13回：都市の交通問題

第14回：都市の公害問題

第15回：都市の財政問題

●成績評価基準と方法

〈評価基準〉

都市の形成と発展の要因について、経済学的視点から説明できる。

都市の土地利用（空間的構造）について、経済学的視点から説明できる。

都市問題とその是正策について、経済学的視点から説明できる。

〈方法〉

講義内容に対する理解を深め、その理解度を確認できるように、毎回の講義で提示される課題について、報告を求める。（評価割合：70%）

学習成果全般について目標達成度を評価するために、講義計画中のテーマから選んだ1つの題材についてのレポート提出を求める。（評価割合：30%）

●テキスト又は参考文献

とくに指定しないが、第1回目の講義でいくつかの文献を紹介する。

—参考文献—

・山田浩之・徳岡一幸編『地域経済学入門〔第3版〕』有斐閣 2018年 2,500円

・黒田達朗・田淵隆俊・中村良平『都市と地域の経済学〔新版〕』有斐閣 2008年 2,500円

・宮尾尊弘『現代都市経済学』日本評論社 1996年 2,700円

・佐々木公明・文世一『都市経済学の基礎』有斐閣 2000年 1,900円

・杉浦章介『都市経済論』岩波書店 2003年 2,300円

・高橋孝明『都市経済学』有斐閣 2012年 2,500円

・金本良嗣・藤原徹『都市経済学第2版』東洋経済新報社

2016年 3,456円（税込）

●受講上の留意点

応用ミクロ経済学としての性格が濃いので、「ミクロ経済学」の知識を持っていることが望ましい。

毎回、次回学習範囲を紹介するので、事前学習を求める。